

The image is a vintage-style advertisement. At the top, the text 'フラガ神父' (Father Praga) is written in Japanese. Below it, the brand name 'pr. Praga' is displayed in large, stylized, black, gothic-style letters. Underneath the letters, the word '料理帳' (Cookbook) is written in a bold, blocky font. To the right of the text is a colorful illustration of a chef wearing a tall white toque and a black apron over a white shirt. The chef has a wide, smiling mouth and is holding a large, round, woven basket overflowing with various fresh vegetables like carrots, onions, and leafy greens. At the bottom of the image, there is a large, flowing signature in Spanish that reads '¡O amos a cocinar! Con mis recetas por pr. Praga.' The background is plain white.

「男子厨房に入らず」なんて言われたが、この言葉は今の日本にはマッチしない。男女共働きの時代だからだ。

父も料理上手。笑い話に泉神父が料理をつくるのを見ると食べれないと言つたものだ。それ程ダイナミックなつくりで、例えば、にんにくの皮をそのまま、味は良かつた。

アブリカ大陸が発見されるまで、このスペイン北西部は「地の果て」と呼ばれた。その先は「神の国」とも呼ばれたそうだ。

かわって
くるとい
う。その
意味か
らも本
場で食べ
ることも
大切だ。

日本に
キリスト
教を伝
えたフランシスコ・
サビエルは「信仰」
だけでなく、日本に
くる。これにパプリカ



世界の食文化を楽しむ ～スペインのパエリア～



藤屋侃士
(下松市華ヶ丘)

は紺碧の地中海で
れる魚貝類がたつ
り入る。私は世界

た。
美味しい
と思つ
地中海の魚貝類が
いっぱいのパエリア



さて指輪の「三才」が、これが私の方の言ふ
神父のスペインの家
庭料理の中にガリシア地方の素朴な貧乏人のステップがある。キリスト教國に於いてパンは神からの恵みで、たとえ古くかたくなつても絶対にすてない。

生きること、それは食文化と共にあらゆる事である。